

- | | | |
|---|-----------|-----------------------------------|
| 1 | 審議会名 | 上田市塩田公民館運営審議会 |
| 2 | 日時 | 令和元年10月2日 午後1時30分から午後3時50分まで |
| 3 | 会場 | 塩田公民館第2学習室 |
| 4 | 出席者 | 室賀会長、小林副会長、龍野委員、中村委員、西澤委員 ・欠席者 なし |
| 5 | 市側出席者 | 酒井館長、堀内次長、甲田主事 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和元年10月9日 |

協議事項等

- | | |
|---|---|
| 1 | 開会 |
| 2 | あいさつ (室賀会長、酒井塩田公民館長) |
| 3 | 報告事項
(1) 平成30年度塩田公民館事業報告(確定)について
(事務局)資料に基づき説明
(2) 塩田公民館施設概要及び利用の状況について
(事務局)資料に基づき説明 |
| 4 | 「塩田地区の地域づくりに係る公民館の役割」について (諮問)
(事務局)資料に基づき説明し、諮問 |
| 5 | 審議事項
(1) 諮問から答申までの進め方について
(事務局)資料に基づき説明
ア 進め方について
(委員)・人口減少時代における新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策 (H30.12.21 中教審答申)に基づき、塩田公民館としては、最終的に2つの課題 (①住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進する役割 ②若者層(若者や現役世代など社会教育への参加が少ない層)の来館を促す取組の強化)に絞って答申して欲しいということか。
(事務局)・課題が広がり過ぎるとまとまらないと思うので、重要な2点に絞った。
イ アンケート、ヒアリングについて
(委員)・公民館内にアンケート用紙を配置し、自由に記入してもら希望人数が約170人となっているが、そんなに回収できるのか。
(事務局)・日々の来館者が多いので、なるべく御迷惑をお掛けしないよう配慮しながら声掛けをしていくとともに、10/26(土)10/27(日)に行う塩田公民館文化祭時に、職員が来館者にアンケート用紙を直接渡してお願いしていきたい。
(委員)・アンケートでは、公民館を利用している方の意見が反映され、利用していない方の意見は反映できないので、注意が必要である。
(事務局)・アンケート集計では、そんな注意点があることも記載していきたい。
(委員)・アンケートは、学校にお願いして保護者全員から提出してもらうことで、本当の声を聴くことができると思う。
・中学生や高校生にもアンケートをとってもらいたい。その際には、集計結果を子どもたちにもフィードバックしてもらいたい。 |

(事務局)・一般的には、アンケートを無作為抽出で行っても、無関心な層が多く、回収率はあまり高くない。また、学校に依頼して保護者全員から回答を求めることは、学校への負担等課題も多く、現実的に難しい。

・中高生へのアンケートについては、必要性は認められるが、方法も含め検討が必要である。

(2) 公民館事業に係る現況と課題、今後の具体的方策について

(事務局) 資料に基づき説明

(委員)・塩田公民館では夏休みに学習室を解放しており、大勢の子どもたちが来館し勉強していたのを見て、とても良いことだと感じた。

(委員)・塩田公民館では子どもの定期検診の会場になっているので、若者層の公民館利用を促すチャンスだと考える。

(委員)・若い方たちが、公民館という場所に集まり仲間で活動したいと思えるような種まきをしておく必要がある。

・自分の子どもが主体になる子ども祭りなどを開催してもらえれば親も公民館に来られると思う。

・子どもたちには、イベントを行う際、自分たちで決めた目的のために頑張るという経験をさせてあげたい。

(委員)・塩田地区の小学校区では、塩田公民館に児童だけで来館できるのは中塩田小学校だけで、東塩田小と塩田西小学校は児童だけで来館できないので、それも踏まえて活動場所の受け皿を考えてもよいと思う。

6 その他

(事務局) 事務連絡

7 閉 会